

古民家復元の経緯

- 昭和61年6月 小田急小田原線連続立体交差事業及び複々線化事業の都市計画事業認可
- 平成元年7月 喜多見～和泉多摩川間、工事着手
- 平成3年9月 市内に居住する建築・都市関係の有志による「狛江のまちを考える会」が発足し、市民活動の一環として小田急線の事業のために取り壊される予定になっていた荒井家住宅主屋の解体・保存を計画
- 平成3年11月 荒井家住宅主屋を市重宝（建造物）に指定
- 平成3年11月～4年3月 狛江のまちを考える会が荒井家住宅主屋の解体・調査を実施
- 平成4年12月 狛江のまちを考える会より「狛江市指定文化財旧荒井家住宅主屋移築地の早期取得・要望書」が市長・教育長・文教委員会に提出される
- 平成5年6月 元和泉二丁目2152-1他、約2,625㎡を市土地開発公社が社会教育施設用地として買収
- 平成8年3月 『狛江市第2次基本構想後期基本計画（平成7～11年度）』において、「古民家の復元を市民参加により進めていきます」と古民家の復元が盛り込まれる
- 平成8年9月 荒井家住宅主屋復元基本構想検討委員会発足
- 平成9年3月 答申（民家園構想の提唱、市民主体の運営協議会での管理・運営など）
- 平成9年9月～10年2月 基本設計
- 平成11年9月・11月 古民家復元事業説明会
- 平成11年12月～12年3月 実施設計
- 平成12年1月 第1回古民家復元ワークショップ開催 以後、13年10月まで20回の全体会を開催
- 平成12年3月 社会教育施設用地を市土地開発公社から取得
- 平成12年3月 『狛江市第2次基本構想第3次基本計画（平成12～16年度）』において、「古民家を復元することにより、市内の文化遺産を継承し、市民の体験学習、歴史学習などふるさとづくりの拠点としていきます」と位置づけられる。
- 平成12年4月～10月 古民家復元諸手続
- 平成12年5月 横浜市せせらぎ公園古民家見学（第5回古民家復元ワークショップ）
- 平成12年8月 復元予定地で草刈り（第7回古民家復元ワークショップ）
- 平成12年9月 第8回ワークショップにおいて、今後の進め方として、管理運営・企画・建設の3つのグループを作り、グループごとに話し合いを行い、全体会で決定していくことになる。
- 平成12年10月 荒井昭氏より荒井家住宅主屋の寄贈をうける
- 平成12年10月 市役所ロビーにおいて、ワークショップの活動報告と第八小学校3年生が描いた「民家園の夢」を展示
- 平成12年11月 横浜市長屋門公園歴史体験ゾーン見学（ワークショップ）
- 平成12年11月 古民家復元工事請負契約締結
- 平成13年2月 「着工お祝い会」開催
- 平成13年3月 狛江古民家復元ワークショップのホームページを狛江市公式ホームページのパートナーシップのひろばに開設
- 平成13年3月 「壁土の土こね」
- 平成13年7月 「上棟式（たてまえ）」
- 平成13年7月 『古民家復元ワークショップ中間報告書』を教育長に提出
- 平成13年8月 「主屋の土壁塗り」
- 平成13年9月 「主屋の茅葺きの手伝い」
- 平成13年10月 広報こまえで古民家園の愛称募集
- 平成13年10月 （仮称）狛江市立古民家園運営協議会第1回設立準備会開催 以後、14年3月まで6回開催
- 平成13年11月 第2回設立準備会において、古民家園の愛称候補を「むいから民家園」に決定
- 平成13年12月 「主屋の見学会（床造り、雑巾がけ）」
- 平成14年3月 古民家復元工事竣工
- 平成14年3月 狛江市立古民家園運営市民協議会設立総会開催
- 平成14年4月 狛江市と狛江市立古民家園運営市民協議会との間で、古民家園管理運営委託契約を締結
- 平成14年4月27日 狛江市立古民家園（愛称、むいから民家園）開園